

いわまつ りょう
岩松 了

* 昭和27年3月26日 川棚町生まれ



○ 略歴

大学2年の時、役者を志して劇団自由劇場に入団

昭和53年 劇団東京乾電池に所属し、作、演出、出演に活躍
(26歳)

昭和61年 処女作「お茶と説教」に続く〈町内シリーズ〉三部作を作・演出
(34歳)

平成 元年 映画「バカヤロー! 2」で監督をつとめる
(37歳)

平成 4年 参加劇「アイスクリームマン」プロデュース公演後、劇団を離れ
(40歳) 竹中直人の会や他劇団への書き下ろしで活躍

平成 9年 映画「東京日和」(竹中直人監督)の脚本を手掛ける
(45歳)

テレビドラマや映画の脚本家・監督としても活躍する傍ら、俳優としての活動も活発でお茶の間やスクリーンでもなじみ深い存在となっている。

平成25年 主演映画「ペコロスの母に会いに行く」(岡野雄一原作・
(61歳) 森崎東監督)が公開予定

○ 主な受賞歴

平成 元年 第33回岸田國土戯曲賞 「蒲団と達磨」

平成 5年 第28回紀伊國屋演劇賞 「鳩を飼う姉妹」
「こわれゆく男」

平成10年 第49回読売文学賞 戯曲・シナリオ賞 「テレビ・デイズ」
第21回日本アカデミー賞優秀脚本賞 「東京日和」

平成30年 第21回 鶴屋南北戯曲賞 「薄い桃色のかたまり」

○ その他の代表作

「虹を渡る女」(平成10) 「夏ホテル」(平13) 「隣りの男」(平成17)

「シェイクスピア・ソナタ」(平19) 「国民傘」(平23)